

世界トップレベルの研究者の養成を目指して

これからの我が国にとって、世界トップレベルの優れた研究者の養成は極めて重要な課題。関係者が人材養成の方向性を共有し、研究者養成に取り組むことが重要。

トップレベルの研究者に求められる能力

- 予測が困難な最先端分野の研究
 - 異分野融合によるブレイクスルー
- ↓
- 多様な人材の確保
 - 研究の視野の広さ、柔軟性
- ↓

幅広い知識を基盤とした高い専門性
(真の専門性)

研究者養成の現状と課題

- 博士課程の教育機能が不十分
 - ・ 専門分野の幅の狭さ
 - ・ 国際性、エリート養成の不足
- 大学院組織における同質性
- 博士学生が研究に専念できない
 - ・ 経済的支援が不十分
- 博士、ポスドクの進路の問題
 - ・ 企業への就職が少ない
 - ・ ポスドク経験の評価が不十分

世界トップレベルの研究者を養成するための改革方策

改革の方向性

博士課程における教育機能の強化

大学院における研究人材の多様性の確保

博士課程学生に対する経済支援の充実

人材養成面における産業界との連携

具体的改革方策

- 教育的視点の強化、カリキュラムの改革、自立性の養成
- 大学院の研究者養成機能強化のための支援
- 博士学生の海外派遣の支援
- 教員採用における配慮
 - ・ 自校出身者比率の低減
 - ・ ポスドクからの採用の増
- 各種の支援制度のバランスある整備
- リサーチアシスタントの充実
- 産業界のニーズの反映
 - ・ 博士学生のインターンシップ
- 人材養成における産学官連携の場の設置